

第 8 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	令和元年 10 月 11 日（金）午後 1 時 00 分～午後 2 時 00 分
場 所	市役所 1 階 101 会議室
出 席 者	坪島委員長、奥住委員、金城委員、比留間委員、小平総務部長、大島企画部長、宮田まちづくり部長
議 題	審議報告書内容確認
結果報告	事務局より説明。 ①前回採点結果報告 前回の採点の集計結果（市営自転車等駐車場）を事務局から報告し、委員より内容について承認いただいた。 ②審議報告書（案）の表現修正について 当委員会の段階では、指定管理者候補者選定のための審議を行うもので、指定管理者を最終的に決めるのは市長である。このため、審議報告書案の「選定事業者」は「選定すべき事業者」という表現に変えた。
説 明	事務局より、本日の流れを説明。 ①審議報告書（案）への意見を伺い、追加及び修正し、報告書を完成する。 ②市営自転車等駐車場（全 38 施設）の市長報告会は、日程の関係で開催しない。
議 題	審議報告書内容確認 （市営自転車等駐車場） 審議報告書（案）について、事務局より説明。 ＝主な意見＝ (1)全体について ①無料駐輪場を指定管理者が管理する範囲に含めることについて、真剣に考えるべきである。 ②事業者は努力していると思う。市では、機械設置して管理することはできない。 ③現指定管理者（株式会社日野市企業公社）の良いノウハウを引き継げると良い。 例えば、現指定管理者は、利用者アンケートを取り、その結果から、空気入れを設置するなど、サービス向上につなげている。主管課から現指定管理者のノウハウを引き継げるようにしていただきたい。また、各年度の事業計画作成の際、主管課で方向付けすべきである。なかでも、利用率向上策は計画させるべきである。 ④提案の 5 か年の事業計画では、利用料収入が毎年落ちていくことになっている。 これについてもっと議論したかった。各年度、主管課との事業計画書の協議で見ていただきたい。

事務連絡	(2)施設ごとの意見と要望について ①意見①の文章から「熱意」を取っていただきたい。 ②暗くなってから駐輪場を見てみたところ、やはり、かなり暗い。防犯対策については、主管課がイニシアチブをとって指導していくべきである。他市の事例で、防災と防犯をタイアップさせた防犯灯があり、何かの時に取り外せるものがある。これを導入しても良いのではないか。 ③情報発信については、事業者が提案している印刷製本費の額では少ない。もっとあっても良いのではないか。また、定期利用のみだった施設を一時利用もできるようにした際の周知をしっかりとっていただきたい。豊田駅南口は、民間駐輪場が増え、そちらは利用が多いようだ。経営が厳しいと言う前に、まず、稼働率を増やす取り組みをしていただきたい。現指定管理者（株式会社日野市企業公社）は、無料お試し券の配布や各種イベントでの利用周知の努力をしていた。 (3)審議全体の総括について ①意見（１）に、防犯対策だけでなく、防災対策も入れていただきたい。 ②意見（２）の日野市障害者差別解消推進条例については、合理的配慮を理解し、条例を遵守していただきたい、ということである。条例は、対象者が理解して初めて良くなっていくものである。また、「第 6 条（事業者の責務）」のみを遵守すれば良いということではないので、「第 6 条」の記載をとっていただきたい。条例全体の理解を深めていただきたい。 以上の意見等を踏まえ、審議報告書に反映させることで決定。 軽微な修正については、事務局に一任する。 事務局より説明。 ①議事録について 市ホームページに議事録も掲載するので、作成でき次第確認をお願いします。 ～第 8 回日野市指定管理者候補者選定委員会（まとめ）終了～
-------------	--